

「北陸地域 ICTイノベーションセミナー2022」を開催

～ 令和4年度 SCOPE研究成果発表会 ～



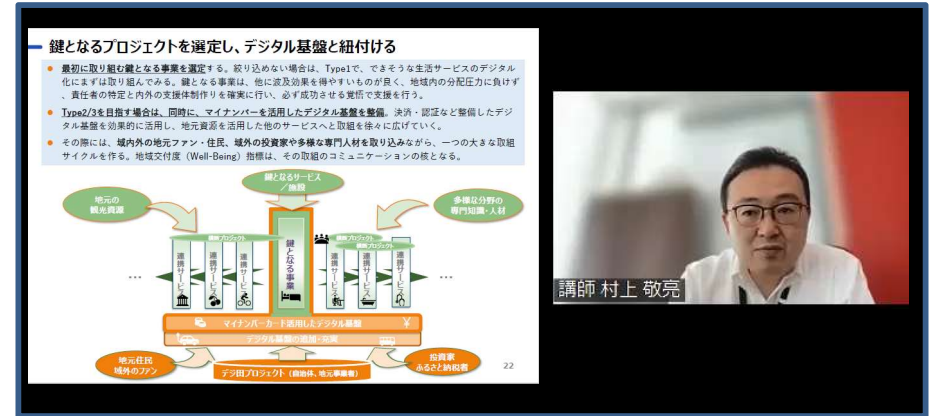
北陸情報通信協議会（会長 金井 豊 北陸経済連合会会長）は、総務省北陸総合通信局及びICT研究開発機能連携推進会議（HIRP）と共催して、令和4年11月2日に金沢市のKKRホテル金沢とZoomによるハイブリッド方式で「北陸地域 ICTイノベーションセミナー2022」を開催しました。

セミナーでは、最初に、デジタル庁 デジタル統括官 国民向けサービスグループ長 村上 敬亮 氏から「デジタル田園都市国家構想推進施策について」と題した基調講演が行われました。講演では、デジタル田園都市国家構想の考え方や取り組みの方向性に関する説明がありました。また、デジタルと共助の力による個々のサービスの生産性や改革を進めていく重要性が強調されました。

続いて、国立研究開発法人情報通信研究機構（NICT）ソーシャルイノベーションユニット 戦略的プログラムオフィス 地域連携・産学連携推進室 水谷 耕平 氏から、NICTの地域連携の取り組みとして、委託研究に関する制度や取り組み事例等について説明があり、社会課題・地域課題を解決するため、北陸地域での連携の必要性が述べられました。

北陸3県での戦略的情報通信研究開発推進事業（SCOPE）の研究課題については、北陸先端科学技術大学院大学 先端科学技術研究科 教授 鵜木 祐史 氏から「確実に情報を伝える音声避難誘導システムの研究開発」について、研究概要とその成果を発表しました。

当日は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、ハイブリッド方式での開催となりましたが、ICT関連企業や研究者など、74名が参加しました。



基調講演 村上 敬亮 氏（オンライン画面）



水谷 耕平 氏



鵜木 祐史 氏



（会場の様子）